

宮城県感染症発生動向調査情報(確定版) 平成29年8月24日発行
 - 2017.8.7~ 2017.8.13 - 第32週 -

1. 集計

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾病	保健所							患者数	宮城県(含む仙台市)					
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼		患者数	累計	第29週	第30週	第31週	第32週
水痘	2 0.40			1 0.50		2 0.40		7 0.26	12 0.20	769				
流行性耳下腺炎	2 0.40	4 0.40	3 0.60	1 0.50		1 0.20		7 0.26	18 0.31	423				
百日咳									0 0.00	0				
感染性胃腸炎	23 4.60	8 0.80	16 3.20	17 8.50	10 3.33	9 1.80	1 0.50	109 4.04	193 3.27	9,793	◎	◎	◎	◎
手足口病	34 6.8	18 1.8	56 11.20	10 5.00	26 8.67	43 8.60	8 4.00	327 12.11	522 8.85	2,232	◎	◎	◎	◎
伝染性紅斑	5 1							1 0.04	6 0.10	121				
突発性発しん	5 1.00	2 0.20	5 1.00	1 0.50	3 1.00	8 1.60	2 1.00	13 0.48	39 0.66	1,090	レ	レ	○	○
ヘルパンギーナ	4 0.8	1 0.1	12 2.40	7 3.50	17 5.67	2 0.40		30 1.11	73 1.24	388	○	○	◎	◎
インフルエンザ						1 0.13		3 0.07	4 0.04	27,053				
咽頭結膜熱			1 0.20	2 1.00	1 0.33	1 0.20		17 0.63	22 0.37	1,314	◎	◎	○	レ
流行性角結膜炎								1 0.17	1 0.08	89				
急性出血性結膜炎									0 0.00	0				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	9 1.80	9 0.90	4 0.80			12 2.40		14 0.52	48 0.81	5,260	◎	◎	◎	○
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)									0 0.00	0				
無菌性髄膜炎									0 0.00	0				
マイコプラズマ肺炎			1 1.00	1 1.00					2 0.17	154				
クラミジア肺炎(オウム病は除く)									0 0.00	0				
RSウイルス感染症	5 1.00	6 0.60	3 0.60	3 1.50	1 0.33	3 0.60		101 3.74	122 2.07	933	◎	◎	◎	◎
感染性胃腸炎(ロタウイルス)									0 0.00	50				
拡張疾病	マイコプラズマ肺炎(小児科)	1	1	2	1			4						
	川崎病	3												
	不明発しん症							5						

◎: 流行の変化について、今後の情報に十分注意
 ○: 発生または流行について、今後の情報に留意
 レ: 発生が少なくなっている傾向

※今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 0例

2. 全数報告疾病

1類感染症: 報告なし

2類感染症: 結核
 塩釜管内 女性1名(第30週)
 仙台管内 男性1名、女性1名、女児1名*

3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症(O121)
 塩釜管内 男性1名、女性1名
 腸管出血性大腸菌感染症(O103)
 塩釜管内 女性1名

4類感染症: E型肝炎
 仙台管内 男性1名
 ライム病
 仙台管内 女性1名
 レジオネラ症
 仙台管内 男性1名

5類感染症: 梅毒
 石巻管内 男性1名

※女児は6歳未満

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

腸管出血性大腸菌感染症患者より
 塩釜管内のO121関連 第32週採取分 O121 1件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	確定			中間報告		
	第29週採取分 (7.17~7.23)	第30週採取分 (7.24~7.30)	第31週採取分 (7.31~8.6)	第29週採取分 (7.17~7.23)	第30週採取分 (7.24~7.30)	第31週採取分 (7.31~8.6)
インフルエンザウイルスA(H3)型	0件	1件	0件	0件	1件	0件
RSウイルス	3件	6件	3件	0件	6件	3件
ヒトメタニューモウイルス	0件	0件	1件	0件	1件	1件
アデノウイルス	1件	1件	0件	1件	1件	0件
ライノウイルス	1件	1件	1件	1件	1件	1件
単純ヘルペスウイルス	0件	0件	1件	0件	0件	1件
パラインフルエンザウイルス(3型)	4件	6件	4件	4件	6件	4件
パラインフルエンザウイルス(4型)	1件	0件	1件	1件	0件	1件

* パラインフルエンザウイルスの分離が多い状態が続いています。
 ** 第28週からRSウイルスの分離が多い状態が続いています。

3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

[手足口病]

仙南、大崎、栗原、登米、石巻、気仙沼、仙台管内で警報継続中

[ヘルパンギーナ]

登米管内で警報継続中

4. 今週のコメント

【RSウイルス感染症】

RSウイルスにより引き起こされる急性の呼吸器感染症で、主な症状は発熱や鼻水です。患者の咳、鼻水等からの飛沫を吸い込んだり、ウイルスが付いたものを触ることにより感染します。特に乳幼児に多くみられ、生後6ヶ月未満の乳児では肺炎などを起こし重症化しやすいことから注意が必要です。通常は秋から冬を中心に流行しますが、近年は流行が早く始まる傾向にあり、今シーズンは、過去5年と比較して、全国的に最も早いペースで患者報告数が増加しています。宮城県でも患者報告数の多い状態が続いており、今後も注意が必要です。手洗い、うがいなどの予防対策に努めてください。

宮城県定点週報告対象疾病の推移

